

トライアルから3年目

関川小学校で ICT活用授業フォーラム



11月15日、関川小学校でICT活用授業フォーラムが開催され、下越地区の小学校教師や事業主体のNTTグループ関係者など約130人が参加しました。平成23年度に実践検証校として全国10校のうちのひとつに選ばれ、事業に参加してから今年で3年目。当日は5・6年生の公開授業のほか、これまでの検証や今後の方向性などについて話し合いが行われました。

5年生の国語の授業では、タブレット端末や電子黒板を使って授業を実施。鹿児島県にある椋鳩十記念館とインターネット通信を利用して授業を行った場面では、参加者が興味深くその様子を参観していました。

その後、鳴門教育大学大学の藤村裕一准教授らを講師に招いてフォーラムが開催され、関川小学校でのこれまでの取組などについて報告されたほか、講師から「何でもかんでもICTを使うのは良くない。先生方が学習の目的に応じて使うことで、学力の向上につながる。重点をはっきりさせ、効果的に使用してもらいたい」などの意見が出されました。

川北小学校発祥の地 記念碑を建立

このたび、旧高田農協跡地に「川北小学校発祥の地」記念碑が建立されました。これは、川北地区の住民から要望を受け、コミュニティかわきたが設置したものです。

川北小学校は今から140年前の明治6年、須貝総十郎宅に高田校として開校し、その後、小見集落に移転しました。昭和20年には、東京からの集団疎開児童89人を受け入れ、383人も児童が在籍。当時は学区も高瀬集落から桂集落までと広範囲にわたり、多くの人たちが巣立っていきました。

須貝総十郎氏の子孫にあたる須貝善昭さん（高田）は「祖先の培ってきた事をこのような形にさせていただき大変喜んでます。関係者の皆さまに感謝しています」と話していました。



▲旧高田農協跡地に建立された記念碑

秋の叙勲



船山勝雄さんに「旭日双光章」

このたび、船山勝雄さん（勝蔵）に国から地方自治功労叙勲として「旭日双光章」が授与されました。船山さんは、昭和53年から約23年間にわたり村議会議員を務め、特に、平成5年7月からの4年間は議長として村の主要産業である農林業と観光の振興に尽力されました。

また、下関保育園や旧川北小学校校舎の建設、(社)村上地域シルバー人材センター関川事務所の開設にも尽力され、村政の発展に多大な貢献をされました。

船山さんは「これまで集落をはじめ、四ヶ字地区の皆さん、そして大勢の村民の皆さんに支えられ感謝の気持ちでいっぱいです。また、青少年健全育成では小・中学校のPTA会長を務めさせていただき、関川スポーツ少年団の結成に携わり、たくさん子どもたちに支えられてきました。ありがとうございました」と感謝の気持ちを述べていました。

小林史佳さん・狩野泰一さん 夢のコラボ実現！

～ 津軽三味線の夕べ in 東桂苑 ～

11月2日、東桂苑を会場に新潟市出身の三味線奏者小林史佳さんを招いて「津軽三味線の夕べ」と題した公演が開催され、村内外から約100人が来場しました。主催は渡邊邸ファンクラブ（廣瀬佳明代表）。

今年で10回目を迎えた公演を記念して、今回は世界的篠笛奏者の狩野泰一さんも特別ゲストとして参加。約2時間にわたりアンコールを含む全14曲を披露しました。

公演では、小林さんの念願だったという狩野さんとのコラボが実現。力強い三味線の音色と、篠笛が奏でる幻想的なメロディに観客も感動していました。

新潟市から来た女性は「小林さんの公演は毎回感動しています。東桂苑にも3回来ていますが、いつ来ても関川村の雰囲気、空気は最高です」と喜んでいました。



職業体験から学ぼう 関川中生徒が職場体験学習

11月13日から15日までの3日間、関川中2年生生徒47人が村内で職場体験学習を行いました。これは、キャリア学習の一環で、職業への関心を高め、将来の職業選択の意欲を高めることを目的に毎年行っているもの。体験学習は、保育園や森林組合、ガソリンスタンドなど13事業所で行われました。

老人保健施設「関川愛広苑」には3人の女子生徒が参加。施設の説明などを受けた後、通所サービスに加わり施設職員の補助や入浴介助の見学、体験をしました。

横山樹奈さん（久保）は「将来の夢が介護士になることなので、関川愛広苑を選びました。実際に入浴介助の手伝いをしてみて、すごく大変だと思った。職場体験を通して、人に親切にすることやお年寄りを大切にすることを学びました」と話していました。

紅葉も深まり始めた11月10日、東桂苑を会場に秋の恒例イベント「食地」が開催され、村外から約30人が参加しました。「食地」は、地元食材を使った料理をその土地で食べていただくこと、毎年、紅葉の時期に合わせて開催しているリピーターの多い人気のイベント。

当日は、村生活改善研究会の皆さんがさがけ米を使っておこわやなめこ汁、ぜんまいの一本煮など全10品の料理で振る舞い、参加者は庭園に広がる紅葉を眺めながら食事を楽しまました。村上市からいとこ4人で参加した富樫照子さんは「はじめて参加しましたが、食事はどれも適量で、味もよく、季節感もあって素晴らしかった。何と言っても、皆さんの心遣いが本当に嬉しかったです。関川村のお母さんたちが、こういう形で地域おこしに参加しているのはとても良いことだと思いました。来年もぜひ参加したいです」と喜んでいました。

関川の秋を食す

東桂苑で秋の人気イベント 「食地」開催！

